本 会 記 事

平成21年度第2回日本農学会運営委員会議事録

日 時：平成21年9月18日（金）15時～16時30分

場 所：東京大学農学部7号館A棟104・105講義室

出席者：鈴木昭憲会長，日比忠明副会長，大熊幹章副会長，河鱈実之（園芸），工藤貴史（魚経），白木克繁（砂防），吉迫 宏（シス農），久保田耕平（樹医），鈴木義人（植調），石橋整司（森計），伊藤純一（育種），八田珠郎（応糖科），岩淵喜久雄（応動昆），桑山岳人（家禽），廣野育生（魚病），杉原たまえ（国地開代），阿部 淳（作物代），嶋田 透（蚕糸），嶺田拓也（雑草），山下修一（芝草），桑原正貴（獣医），築尾嘉章（植病），仁多見俊夫（森林），山川 卓／濱田奈保子（水産），酒井久治（水工），石川尚人（草地），伊藤 弘（造園），小澤壯行（畜産），石川 明（動遺育），中西友子／八木一行（土肥），妹尾啓史（土微），真田篤史（熱農（代）），大野宏之（気象（代）），長澤寛道／西山 真（農化），米山弘一（農薬），山内啓太郎（繁殖），斎藤幸恵／藤原 健（木材），塩沢 昌／中嶋 勇（農村工），相馬智明（木質（代）），堀 靖人（林経（代）），中田了五（林育），松本 宏（学著協），黒住圭子（事務局）

欠席者：馬場 正（園芸），五味高志（砂防），土田志朗（実農），高橋輝昌（森立），高島一昭（動臨），中園幹生（育種），加藤 茂（海水），山田 智（砂丘），遠矢幸伸（獣医），篠原健司（森林），後藤英司（生環），金子忠一（造園），今川和彦（畜産），高橋克也（経営），青柳 斉（経済），高垣美智子（農作），大木富雄（ペット），大倉利明（ペドロ），芋生憲司（農機代），川越義則（農施），中村典裕（農情），大黒俊哉（農計）

議長：鈴木会長

議事1. 平成21年度第1回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について（資料1）

白木庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事2. 平成21年度（第80回）日本農学大会の報告（資料2）

白木庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事3. 日本農学会創立80周年記念式典・祝賀会準備状況について（資料3）

白木庶務担当常任委員より資料に基づき準備状況について説明があった。祝賀会は参加人数が多いので，当初予定

していた会場のアネックスから弥生講堂へ変更する旨報告があった。

吉迫会計担当常任委員より80年史の発行等において予算の超過が見込まれるため，平成21年度予算の補正として昨年度に基本金から取り崩し計上した現金預金を一般会計に繰り入れ，繰入額と同額を「80年記念事業（出版）へ繰入金支出」と「予備費」に計上すること，また80周年記念式典に関する支出超過は予備費から充当することの提案があり，了承された。

鈴木会長より式典参加の呼びかけのお願いがあった。

議事4. 平成21年度日本農学会シンポジウムの準備状況について（資料4）

工藤企画担当常任委員より資料に基づき準備状況，広報活動および成果概要出版について説明があり，了承された。

平成22年度シンポジウムテーマおよび企画委員会の立ち上げについて（資料5）

仁多見企画担当常任委員より資料に基づき説明があり，シンポジウムテーマ「農業生物多様性の現状と課題」が了承された。企画委員については各学会からの10月初旬までに選出の依頼があった。

鈴木会長より，秋に行うようになったシンポジウムも今回で5回目を迎え，今後のシンポジウムのあり方等何かあればご意見を伺いたい旨お願いがあった。

議事5. 平成22年度日本農学賞受賞候補業績の推薦並びに平成22年度日本農学会評議員会について（資料6・7）

白木庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。推薦依頼は9月2日に加盟学協会にはメールにて送っているので，多くの学会から推薦頂きたい旨依頼があった。

日本農学賞選考方法について，資料に基づき現状について説明があった。以前からの懸案事項であり，改定についての忌憚のない意見のお願いがあった。意見等の募集は11月末までに事務局まで。

また，来期は役員改選なので，10月初旬に事務局より推薦依頼を送付するので推薦してほしい旨依頼があった。

議事6. 平成22年度常任委員担当学会について（資料8）

白木庶務担当常任委員より，来期の常任委員担当学会について説明があり，「常任委員割り当て表」に基づいて常任委員をお願いする旨説明があった。

その他

(1) 学術著作権協会について

松本宏先生より，資料に基づき事業内容・計画に

ついて説明があった。

(2) 公益法人制度改革について

長澤先生より、平成 20 年 12 月 1 日から施行された新しい公益法人制度の下で、現在公益法人には数十団体が認定されたがすべて財団法人から移行した

団体であること、9 月 2 日に学会ではじめて公益社団法人第 1 号として日本人間ドック学会が認定された旨報告があった。日本人間ドック学会の定款を事務局から送付するので、今後の参考にしてほしい。